

クローズアップ



日本橋ダイヤビルディング

泉 田 亮

(Akira Izumida)

三菱電機エンジニアリング株式会社

昇降機技術部

建 物 外 観

1. はじめに

三菱倉庫株式会社の旧社屋「江戸橋倉庫ビル」がリニューアルされ、防災・環境配慮型オフィスビル「日本橋ダイヤビルディング」として2014年9月3日に竣工しました。

昭和5年12月に竣工し、東京都選定歴史的建造物に選定された旧社屋の外観を既存建物のある地上6階まで残り、高層棟を増築しています。

安全・安心、業務継続性を第一に考え、中間階免震構造、建物内排水循環システム、非常用発電機などの災害対策機器を備えています。また、建築物の環境性能を評価する「建築環境総合性能評価システム（CASBEE）」で最高ランクのSランクを取得しています。

8階から17階までの高層部はテナントオフィス、2階から6階までの低層部は三菱倉庫株式会社のオフィス及びトランクルームとなっています。1階のエントランスホールには日本橋界限の変遷や倉庫業の歴史を展示、加えて日本橋川の河畔には親水空間を配置し、共に公開スペースとすることで地域に貢献しています。

2. 建物概要

所在地：東京都中央区日本橋一丁目19番1号

建築主：三菱倉庫株式会社

設計・監理：株式会社 三菱地所設計

株式会社 竹中工務店

施工：株式会社 竹中工務店

建物用途：事務所、倉庫

敷地面積：2,886.98㎡

建築面積：2,518.00㎡

延床面積：30,029.44㎡

構造：既存RC、地下・低層(新築部)SRC、高層S、
中間階免震

階床数：地下1階、地上18階、塔屋1階

建屋高、軒高：89.281m

工期：2011年10月～2014年9月

竣工日：2014年9月

3. 昇降機設備

昇降機設備は10台のエレベーターが設置されており、高層用はテナントオフィス用、低層用は三菱倉庫株式会社のオフィス及びトランクルーム用となっています。

7台の高層用には中間階免震構造対応エレベーターが採用されています。そのうち非常用エレベーターにおいては、建物の層間変位量に追従する機構をもつ可動乗場三方枠が設置されています。

かご意匠は、低層用・高層用ともに、壁のコーナー部分やボタンなどが丸みを帯びた温もりのあるデザインに統一されています。低層用のかご内壁面には、シルク印刷仕上げにより旧社屋の外観が描かれています。また、低層用の乗場ボタン・乗場位置表示器に、旧社屋で使用されていた昭和初期デザインのプレートが流用されており、当時のモダンアートな造形が歴史的建造物の面影を後世に伝えています。

クローズアップ



高層用エレベーターホール



高層用エレベーターかご内



低層用エレベーターホール



低層用エレベーター
乗場位置表示機



低層用エレベーター
乗場ボタン

エレベーター仕様 (計 10 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV1-6	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1300	20	180	6	14 (1-3, 6, 8-17)	三菱	中間階免震対応 EV-3車いす仕様
EV7	"	"	乗合全自動方式	1300	20	90	1	4 (1-3, 6)		車いす仕様
EV8	"	"	"	2000	30	120	1	19 (B1, 1-18)		中間階免震対応 兼非常用
EV9	荷物用	"	"	3500	-	45	1	3 (1, 5, 6)	横浜エレベータ	
EV10	乗用	"	"	1000	15	90	1	4 (1, 2, 5, 6)	三菱	車いす仕様